

みずほCustomer Desk Report 2018/03/19 号 (As of 2018/03/16)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	106.33
TKY 9:00AM	106.32	1.2307	130.84	1.3936	0.7788
SYD-NY High	106.37	1.2336	130.84	1.3980	0.7804
SYD-NY Low	105.61	1.2260	130.09	1.3887	0.7710
NY 5:00 PM	105.98	1.2290	130.32	1.3943	0.7713
NY DOW	24,946.51	72.85	日本2年債	-0.1500	▲1.00bp
NASDAQ	7,481.99	0.25	日本10年債	0.0300	▲1.00bp
S&P	2,752.01	4.68	米国2年債	2.2930	0.83bp
日経平均	21,676.51	▲127.44	米国5年債	2.6427	2.03bp
TOPIX	1,736.63	▲6.97	米国10年債	2.8436	1.83bp
シカゴ日経先物	21,470	▲235.00	独10年債	0.5685	▲0.40bp
ロンドンFT	7,164.14	24.38	英10年債	1.4295	▲0.85bp
DAX	12,389.58	44.02	豪10年債	2.6820	▲3.65bp
ハンセン指数	31,501.97	▲39.13	USDJPY 1M Vol	7.94	▲0.11%
上海総合	3,269.88	▲21.23	USDJPY 3M Vol	8.38	▲0.14%
NY金	1,312.30	▲5.50	USDJPY 6M Vol	8.60	0.02%
WTI	62.34	1.15	USDJPY 1M 25RR	-1.15	Yen Call Over
CRB指数	194.46	0.57	EURJPY 3M Vol	8.60	0.13%
ドルインデックス	90.23	0.09	EURJPY 6M Vol	8.94	0.16%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月16日	19:00	欧 CPI(前年比)・確報値	2月 1.1%	1.2%
	19:00	欧 CPI(前月比)	2月 0.2%	0.2%
	19:00	欧 CPIコア(前年比)・確報値	2月 1.0%	1.0%
	21:30	米 住宅着工件数	2月 1236k	1290k
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	2月 1.1%	0.4%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド指数	3月 102.0	99.3

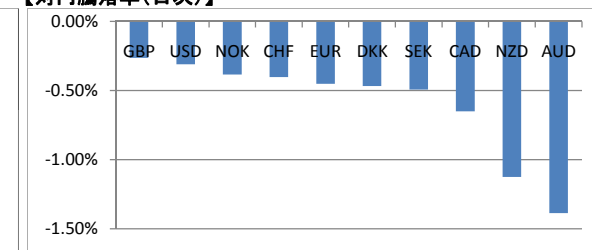
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月19日	8:50	日 貿易収支	2月 +891億円	-9,441億円
		G20(ブエノスアイレス、20日まで)		

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.50-107.00	1.2200-1.2350	129.5-131.00

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は、ドル安の動きを受け下落するも、米国時間に発表された米2月鉱工業生産、米3月ミシガン大学消費者信頼感等の指標が市場予想を上回る中、買いが入り上昇。節目の106円付近でクローズ。本日については、特段大きなイベントも予定されておらず、週半ばにはFOMCを控える中、様子見となる可能性が高いのではないだろうか。

東京	東京時間のドル円は106.32レベルでオープン。朝方、トランプ米大統領がマクマスター大統領補佐官を解任する方針を決定したとの報道を受け、円買いが進行。コーン前国家経済会議委員長の辞任、ティラーソン前国務長官の解任と米政権運営への懸念が高まっている中、同政権の強硬路線が一段と強まることが意識されドル円は106円を割り込む展開に。その後も北朝鮮の核施設で稼働の兆候との報道や、日経平均株価の軟調な推移も相まって106円丁度付近で上値重く推移し、結局105.91レベルで海外市場へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は105.91レベルでオープン。モラー米特別検察官がトランプ大統領の経営する事業会社に対し、ロシア関連文書を含む文書の提出を求める召喚状を送ったとの報道や、トランプ大統領がマクマスター米大統領補佐官を後退させる方針を決めたとのニュースに米政権先行き懸念が強まり105.61まで下落。下値を探りながら105.62レベルでニューヨークへ渡った。
ニューヨーク	ドル円は、105.62レベルでNYオープン。朝方は米2月鉱工業生産が予想を上回ったことからドル買いが強まると、その後発表された3月ミシガン大学消費者信頼感指数は予想を上回り、現状指数は統計開始以来の最高水準となったことから、ドル円は106.23まで戻す。午後は週末を控え、狭いレンジでの推移が続く。105.98でクローズした。一方、ブラトECB理事が「資産購入終了による誤ったシグナルを送る可能性があることから、早すぎるガイダンスの見直しはするつもりはない」と話したものの、ユーロドルの反応は限定的となるが、その後ドル売りが優勢となり、1.2336まで戻し、1.2329レベルでNYオープン。朝方は米鉱工業生産、ミシガン大学消費者信頼感指数結果を受けたドル買いに、短期的なサポートと見られていた3/9の安値1.2273を抜け、1.2280まで下落する。午後は週末を控え、1.2290付近での閑散な推移が続く。1.2290レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 藤巻・田家